

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果報告書  
(平成30年度実績)

御代田町教育委員会

— 目 次 —

<b>I 点検・評価の概要</b>	
1 はじめに	1
2 目的	1
3 対象事業の考え方	1
4 点検・評価の考え方	1
5 意見等の活用	2
<b>II 点検・評価の結果</b>	
(基本方針・主要施策)	
・地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進 義務教育の振興	3
・いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進 生涯学習の推進	9
・スポーツへの主体的な取り組みの推進 生涯スポーツの振興	18
スポーツ施設の整備	20
・文化と芸術の織りなす地域づくりの推進 文化・芸術の振興	21
・次代と郷土を担う人材育成 奨学金制度の見直し	22
<b>III 教育委員会活動</b>	23

## I 点検・評価の概要

### 1 はじめに

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられたことに伴い実施するものです。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、教育次長以下の職員で構成される事務局を、様々な立場の複数の教育委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

### 3 対象事業の考え方

本年の点検・評価の対象事業は、前年度である平成30年度分の事業実績としました。その対象範囲は、学校教育、生涯学習、文化振興及び体育振興に関することなど地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務など、本委員会が所管する全ての事務としました。

事業のまとめ方については、第5次御代田町長期振興計画の施策体系により、施策の柱・基本方針及び主要施策を踏まえつつ、教育委員会が行っている主な事業を網羅する形で該当事業を選定しました。

### 4 点検及び評価の考え方

対象事業の点検については、事業評価シート「2. 施策に該当する事業」欄の事業の内容（対象、実施状況、結果等）と「4. 施策に対する現状の課題、改善策等」の記述に反映させました。

評価については、事業評価シート「3. 事業評価の凡例」のとおり、事業の必要性、事業の妥当性、事業の成果、事業の効率性、事業の方針の5つの観点から評価を行い、評定では、A・B・C・D・E・Fの順に3から6段階に分けて自己評価を行いました。

## 5 意見等の活用

点検評価の客観性を確保し、かつ広い観点からの意見を求めるため、教育経験者や地域住民のために貢献されてきた団体の責任者等からご意見をお聴きする機会を設け、様々なご意見並びにご助言をいただきました。ご意見をいただいた方々は次のとおりです。

(敬称略)

(氏名) (所属等は令和元年7月現在)

内堀 隆久 御代田町民生児童委員協議会長

尾台 栄一 御代田町スポーツ協会長

土屋 一男 御代田町社会教育委員議長

原田 千万 御代田町東原児童館長

堀籠 幸子 御代田町公民館グループ連絡会長

## 6 点検評価実施日

令和元年8月21日(水) エコールみよた 大会議室

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号) 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校教育の充実)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 学力向上対策研修事業	<p>教員の資質向上を図ることにより児童生徒の学力向上に繋げるため、30年度から町費による指導主事(元小学校長)を任用し、学校を訪問指導しています。県教育委員会において各種研修を実施していますが、教員としての基本的な能力(授業力・生徒指導力・学級経営力等)を更に向上させることにより、児童生徒の学力向上に繋げるため、資質向上のための研修として「教師力アップ学習会」を開催しました。【年10回開催】</p>
事業費 160千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
2 学力向上事業	<p>学力検査(NRT:相対評価法による検査)では、児童の学力実態を把握し、学習支援や指導の工夫・改善を行っています。学力テスト(CRT:絶対評価法による検査)では、基礎的・基本的な学習内容の到達状況を適切に把握することができます。</p> <p>これらにより、学年・学級の習熟度や個々の実態把握をすることができ、学習指導・学力向上に繋がっています。</p>
事業費 2,180千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
3 ステップアップスクール事業	<p>中学3年生を対象に、英語と数学の基礎的な内容の補習などの学習指導を行うため、水曜日の放課後に中学校で開講しています。ステップアップスクールを通して、受験に向けた学習への意欲を高めるとともに、学習に対する理解を深めることを狙いとしています。</p> <p>元教員や塾講師経験者を講師とし、英語・数学の2教科でテキストやドリルを活用して学習に取り組んでいます。</p> <p>【開催回数】水曜日の放課後(年25回)、夏季休暇期間(10回) 合計35回</p> <p>【参加人数】中学3年生:30名(英語:23名、数学:7名)</p>
事業費 155千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= A
4 相談員・支援員配置事業	<p>いじめ・不登校対策・発達障がいなどの問題を抱える児童生徒のために、心の相談員・学習支援員などを配置し、児童生徒の実態把握や学習支援、個別指導、家庭訪問等のサポート体制を構築しています。児童生徒に対する発達検査を行うことで、教育・療育の状況や発達上の問題がないか把握するとともに、より良い支援の手がかりを得ることを目的として実施しています。</p> <p>中間教室では、中学の相談室や不登校児童生徒の受け入れの場として支援を行っています。</p> <p>【配置数】臨床心理士1名、心の教室相談員1名、中間教室1名、学習支援員11名</p>
事業費 17,846千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
5 教育支援事業	<p>教育委員会には、障がいのある子どもの就学先決定の権限と責任があります。障がいのある子どもとその保護者に十分な情報提供を行うとともに、その意向を可能な限り尊重しています。</p> <p>早期からの相談を通して、保護者に対して十分な情報を提供するとともに、教育支援委員会では、本人や保護者の意向を最大限尊重した上で総合的に就学先を判断しています。</p> <p>【教育支援委員会 相談件数:14件】</p>
事業費 27千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
6 人権教育事業	<p>人権感覚は、児童生徒に繰り返し言葉で説明するだけで身につくものではないため、学校や学級の中で自分と他の人の大切さが認められるような環境をつくるよう取り組んでいます。</p> <p>道徳の授業において、人権同和教育副読本「あけぼの」を教材として活用しています。</p>
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= A 成果= B 効率性= A 方針= B

7 英語学習事業	<p>令和2年度から小学校5・6において「教科」に変わるため、児童が英会話に慣れる体験や学習を行う中で、「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育み、言語や文化に対する理解を深めながら、英語のコミュニケーション能力を育成していくものです。</p> <p>中学校における外国語教育の充実とコミュニケーション能力の向上を図るため、外国人講師を配置し、基礎的・実用的な語学力の習得を目指して語学指導を行っています。</p> <p>【小学校】外国人講師1名(北小・南小兼務)</p> <p>【中学校】外国人講師1名</p>
事業費 5,742千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= A
8 安全確保事業	<p>教育委員会では、警察、道路管理者、学校、PTAによる通学路安全推進会議を設置し、御代田町通学路交通安全プログラムを策定しています。</p> <p>教育委員会と関係機関(学校、PTA、道路管理者)と合同で通学路点検を6月21日に実施し、通学路における危険箇所の把握とともに関係機関へ危険箇所の改善を要望しました。</p> <p>新潟の事件を受けて、通学路の緊急合同点検を9月18日に実施しました。点検箇所として、主に人気がなく薄暗い地下道を点検しました。</p>
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= A

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上に向けて、教員を対象とした「授業改善に向けた授業づくりの支援」並びに「教師力アップのための研修」を実施し、教員の資質向上に努めました。</li> <li>水曜日の放課後開催のステップアップスクールに変更後、2年が経ちました。3年生限定ではあるものの、参加希望者は増加傾向にあります。帰宅することなく受講できたため、保護者からは好評を博しています。</li> <li>発達障がいや学習に関するさまざまな課題を持つ児童生徒への支援の重要性は高いため、児童生徒の状態に応じ、今後もできる限り支援を継続していく必要があります。臨床心理士による教育相談(発達検査・保護者との相談など)により発達上問題ないか数値的にも把握することが可能となりました。発達に課題のある児童について、家庭との合意形成が取りにくい事例があるため、丁寧な対応と説明が引き続き求められます。</li> <li>教育支援事業を通じて、就学に関わる相談、就学後の適切な教育や一貫した教育支援を進めています。今後も教育や医療、保健、福祉などの関係機関が一体となり、障がいのある子どもやその保護者に対する相談・支援体制を拡充していくことが課題となっています。</li> <li>小学校5年生から英語による「聞く・話す」だけでなく、簡単な語句や表現を使って自分の考えを「話す・書く」ことが学習となるため、「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく育み、英語コミュニケーション能力の基礎を養うことが求められています。</li> <li>中学では更に実践的に高めていくという繋がりががあるため、小学校における英語授業の役割が重要となります。</li> <li>以前から要望していた杉の子幼稚園南側に信号機設置がされ、児童生徒のみならず地域住民の安全確保に繋げることができました。今後も継続した安全点検並びに関係機関との連携を図る必要があります。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいの子どもの数が増えている中で、関係部署との連絡を取りながら、幼稚園及び保育園を含めて幼児期から小中学校との連携を密にしてほしい。</li> <li>転入してきた教育支援を必要とする子どもについて、支援が途切れないよう連携を密にしてほしい。</li> <li>中学校の「学習の手引き」等の学力向上に向けた対策をこれからも続けてほしい。</li> <li>更なる学力向上に向けた方策を考えてほしい。</li> </ul>
--

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校教育施設・設備の整備充実)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 北小施設改良工事	<p>児童が使用する教室ロッカーが経年劣化により傷んでいるため、児童が安全に使用できるよう、修繕(研磨・塗装)を行いました。</p> <p>【改修内容】2階教室(3・4学年)ロッカー修繕[522千円]</p> <p>学校体育施設開放時に使用するグラウンドの夜間照明(ナイター)の電球が切れてしまったため、利用者が快適に利用できるよう、電球の交換を行いました。</p> <p>【改修内容】校庭夜間照明交換修繕[316千円]</p>
事業費 838千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
2 南小施設改良工事	<p>南小学校グラウンド南側の住宅造成工事に伴い、住宅地側に土砂が流れ出ないように、コンクリートブロックによる擁壁とフェンスを設置しました。(ブロック344㎡・フェンス136.6m)</p> <p>【工事内容】グラウンド南側擁壁フェンス設置工事[31,256千円]</p> <p>南小学校グラウンド南側の住宅造成工事に伴い、既存のバックネットを撤去し、新たなバックネットを設置しました。(H6m×W4m×3面、支柱KSポール×4本、ポリネット)</p> <p>【工事内容】グラウンドバックネットフェンス設置工事[3,974千円]</p> <p>第2音楽棟屋根に赤錆が出ており、放置すると、屋根の錆が広がり全体の鉄材が腐食してしまうため修繕しました。(瓦棒葺き屋根再塗装221㎡)</p> <p>【改修内容】第2音楽棟屋根塗裝修繕工事[1,424千円]</p> <p>冬季の冷え込みにより、消火栓ポンプが破裂したことから、今後の凍結を未然に防ぐため凍結防止帯の処理を行いました。</p> <p>【改修内容】機械室凍結防止帯設置修繕[324千円]</p> <p>小プールの排水管が詰まったことにより、プールの授業に支障をきたすため修繕しました。</p> <p>【改修内容】小プール排水管閉塞改善修繕[144千円]</p>
事業費 37,122千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
3 中学施設改良工事	<p>学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるため、夏季の猛暑に備えてエアコン2台(音楽室)と扇風機154台(各教室)を設置しました。</p> <p>【工事内容】エアコン扇風機設置工事[11,416千円]</p> <p>中庭階段の枕木が風雨により劣化し腐食したため、安全に配慮し修繕しました。</p> <p>【工事内容】中庭階段修繕[136千円]</p> <p>配管パッキンの劣化により水漏れを起こしたため、予防を含めて校舎全体のパッキンを交換しました。</p> <p>【改修内容】廊下手洗い場フレキ配管パッキン取替修繕[248千円]</p>
事業費 11,800千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

#### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

- |  |
|--|
| •学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割があります。日常のみならず、災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められるため、学校施設が常に健全な状態を維持できるよう、適切に維持管理を行う必要があります。 |
| 施設ごとの長寿命化計画を策定し、厳しい財政状況下の中で維持管理計画の実行や施設整備体制の構築により、財政的な負担を縮減し、修繕工事費の平準化を図らなければなりません。  |
| •学校遊具の老朽化や劣化により安全基準を満たさなくなった場合は、早急に改修を行えるよう注視し対応していく必要があります。   |
| •学校備品などについては、長期的計画に照らし合わせながら財政状況や学校の実情に応じて計画的に購入する必要があります。学校備品購入についても、施設同様に財政負担に対する平準化を図る必要があります。  |

#### 5. 識者からの意見

- |   |
|---|
| •既に建設から40年以上経過している学校もあるため、施設改良工事は不可欠であるので、子どもたちが快適に学習できるように設備を充実させてほしい。 |
| •文部科学省から出ている長寿命化に関する指針に沿って、学校施設の維持管理に努めてほしい。                            |
| •施設の老朽化にともなう事故が発生しないよう、施設点検・維持管理に努めてほしい。                                |

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校給食)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 食育の推進事業	<p>学校と連携し、料理教室、給食時の学級訪問を実施しました。栄養教諭や調理員と一緒に給食をとり、児童生徒が食の安全や栄養に関心を持つことで、食育の推進に繋がっています。</p> <p>また、小学校の読書週間に合わせて、本と給食のコラボ給食を実施しました。</p> <p>南小学校で開催された長野県学校歯科保健大会では、かみかみ食材として野沢菜を使った給食メニューを考える公開授業を担当教諭と栄養教諭が行いました。</p> <p>【料理教室】小学校1回、中学校5回実施、【学級訪問】31回実施、【コラボ給食】9回実施</p>
事業費 66千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=A
2 給食職員の資質の向上	<p>衛生管理や調理設備の操作研修、給食研究大会への参加により、調理職員の知識や意識の向上を図っています。安心安全で美味しい給食を安定して提供できるよう、調理員がローテーションで調理工程を受け持ち、調理技術の向上に努めています。</p> <p>実務経験2年以上の調理員は、調理師免許または管理栄養士免許を取得しています。</p>
事業費 10千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=B
3 地産地消推進事業	<p>地元の生産者団体を通じて、町内産の野菜、味噌、米を学校給食に活用し、地産地消を推進しています。年度当初に生産者と年間の出荷予定を確認し、計画的な食材の導入を行っています。伝統料理であるおにかけうどんに地粉を活用したり、ブルーベリーの手作りジャムの給食も継続して行っています。</p>
事業費 439千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=B
4 食物アレルギー対応業務	<p>食物アレルギーの反応がある児童生徒は32名、他に牛乳飲用不可の児童生徒は13名でした。アレルギー専任栄養士を配置し、『学校生活管理指導表』に基づき、代替食を献立作成から調理、個別の受け渡しまで対応しています。保護者との連絡・確認を確実にし、栄養教諭とアレルギー専任栄養士が二重チェックを行うことにより、提供誤りのないよう取り組んでいます。</p>
事業費 995千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
5 施設・設備の修繕業務	<p>前年度実施した特定建築物定期調査の結果を受け、施設の錆箇所等の剥離・塗装修繕を行いました。給食の調理や、食器・食缶の洗浄作業に影響が出ないよう、委託による定期的な保守点検を行いました。施設内の簡易修繕については、職員が行い、適切な施設維持管理に努めています。</p>
事業費 2,572千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=A 方針=B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食を通して食育の推進を図っており、学級訪問は栄養教諭だけでなく、引き続き調理員もいっしょに訪問し、児童・生徒と意見交換をすることによって、給食づくりに反映していきます。</li> <li>共同調理場では、調理員13名が班編成をし、日々の作業を組織的に行うことで、ひとりひとりの作業技術の向上や</li> </ul>
---

<p>効率化を図り、今後も安定した給食の提供を行っていきます。また、調理・洗浄作業はとても重労働であるため、作業中の安全等に十分配慮する必要があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理員の離職等により、給食の提供に影響がないよう、調理員・代替調理員の確保に留意していく必要があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で生産される食材を積極的に取り入れ、地産地消の推進を図ります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのある児童生徒が、今後も安心して食べられる給食を提供していく必要があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や厨房機器の老朽化が進むことから、今後も定期点検を行い適切な維持管理を行っていく必要があります。</li> </ul>

#### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーがある子どもも、引き続き安心して給食を食べることができるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー代替食に対応してよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスや味のほかに、郷土食を取り入れるなどの献立の工夫を続けてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAの試食会は、保護者が給食を食べることができる貴重な機会であるため、続けてほしい。</li> </ul>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(総合的な学習機会の提供)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 社会教育推進事業	生涯学習は、非常勤特別職員として公民館長を配置し、学級講座、学習会、講演会、公民館活動、コンサート、展覧会など数多くの事業を実施し、学習機会の推進を図ってきました。現在29団体の生涯学習関連グループが活動し、その輪が大きく広がっています。また、各分館活動への支援を行っています。
事業費 8,781千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
2 心理相談事業	めまぐるしい社会の変化や、家族形態が多様化・複雑化するなかで、心理的に不安定な状況に追い込まれる方が増加傾向にあります。このことから、非常勤特別職員として心理相談員を配置し、相談業務を実施しています。平成30年度の相談件数は約366件で、学校教育現場と連携して実施しています。心理相談員大澤先生が11月末で退職され、令和元年度4月より臨床心理士の田子先生を迎え、引き続き、学校を中心に相談業務を継続しています。
事業費 1,347千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
3 しめなわ作り教室	日本古来からの伝統行事の継承とともに、新年を自分で作ったしめなわで迎えてもらうことを目的に行っています。一般参加:12人 なんでも体験隊:28人 合計40名 12月15日開催
事業費 20千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
4 歴史講座 歴史の旅	日本の歴史等を講義で学ぶことと、現地を訪れ理解を深めることを目的に行っています。平成30年度 講座「大相撲の歴史～大鷲・相撲人生 I・II」2回:参加者73名 歴史の旅「富山・福井方面 国宝端龍寺、妙立寺(忍者寺) 他」:参加者26名
事業費 416千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
5 いきいき学級	性別を問わず、いきいきと暮らしに張り潤いをもって、人づきあいを楽しむことを目的に行っています。いきいき学級研修:参加者56名、いきいき学級講座:参加者33名 研修2回、講座2回
事業費 109千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
6 きなんしまつり	生涯学習グループ及び各団体が、作品を展示し発表を行うなど、日頃の成果を発表することで、各団体の魅力を伝える場として定着しています。町補助614千円。 芸能発表会:参加団体27・参加者427名、総合文化展:参加者283名・出展数725点
事業費 614千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
7 書初展	各分館の書道学級に所属している方、南北小学校3年生～6年生の児童、町内の書道愛好者の書初作品の展示会を実施しています。出展数:695点 1月4日(金)書初めを書こうを開催(講師:天野さん)
事業費 5千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
8 ピアノリレーコンサート	町内のピアノ愛好者によるピアノコンサート。あつもりホールにあるスタインウェイのピアノを多くの方に演奏してもらい、観客にもその音色を楽しんでもらうことを目的に行っています。 3月3日(日)開催、参加者54組・64名
事業費 20千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= A 効率性= B 方針= B

9 写真教室	携帯電話等で写真を撮るなど、身近なものになった写真をもっと楽しんでもらうことを目的に開催しています。(株)アマナから講師を招き、子ども向けワークショップや料理写真の撮影ポイントなど、写真の楽しみ方や、写真講座でカメラの技術を教わりました。参加者44名
事業費	千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=A
10 理科読講座	楽しみながら読書や科学に興味を持ってもらうため、本の読み聞かせと科学の実験を行う講座です。NPO法人ガリオ工房から講師を招き、小・中学生を対象に夏休み期間中に実施しました。参加者37名
事業費	302千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=A
11 エコールサロンコンサート	町民の方に生演奏の音楽を気軽に聞き素晴らしさを感じてもらうため、町内及び近隣市町村で活躍する方の無料コンサートを5月～11月の第3土曜日の17:30～18:00に開催しました。 12月15日(土)エコールサロンコンサートinクリスマス(開場14:30開演15:00～あつもりホール)
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=A
12 数学教室	夏休み特別講座～実験から学ぶ、数学の不思議～ 8月3日 参加者:6名 春休み特別講座～数学は計算、理論だけじゃない! 想像力で数学を楽しもう～ 3月9日 参加者:6名
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=B
13 楽しい英語教室	町民の皆さんに楽しく英語を学んでほしいとの思いから開催しました。 毎週火曜日午前11:00～12:00(5月から10月まで) 計25回 参加者:10名 毎週金曜日午前11:00～12:00(11月から3月まで) 計20回 参加者:7名
事業費	113千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>きなんしまつりに、引き続き子どもたちに参加してもらい観覧者の増加に努めました。また、(株)アマナの協力による写真教室や、理科読講座とエコールサロンコンサートを継続して実施するとともに、新たに特別講座として数学教室を(2回)、楽しい英語教室を(年間2期)開催し、学習機会の拡大を図りました。</li> </ul>
<p>今後も既存事業の内容等を見直し、地域社会に密着した学習活動の拠点として、一層の機能向上に努めます。</p> <p>この他に、公民館グループに小学校の総合学習の時間に参加してもらうなど、生涯学習の必要性についてアピールに努めます。</p>

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みに行われている理科読講座について、時期的に学校のプール開放日に重なってしまうため、日程調整などの配慮がほしい。</li> <li>多くの事業を実施している中で、新しい事業を始めることはよいことである。</li> </ul>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(広報活動)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 公民館報発行事業	生涯学習及び公民館活動が行っていることを、分館長や参加者の声とともに情報発信することで、その必要性や楽しさをアピールするとともに、関連施設の利用及びイベントの参加促進などにもつながるよう取り組んでいます。 広報「やまゆり」やエコール事務所入り口にも、募集記事や活動報告を載せ事業の魅力を伝える活動に取り組んでいます。 公民館報発行回数:年2回(10月・4月)、発行部数:5,250部(広報やまゆりに掲載)
事業費	120千円 (事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報等で情報発信を行うことで、その必要性や楽しさを伝えていますが、参加者や年齢層が固定されています。平成28年度より広報「やまゆり」と公民館報を一緒の冊子で発行するように変更を行いました。こうしたことで、より多くの方に公民館活動を知ってもらえることが期待され更に、生涯学習の必要性や楽しさについて伝える方法を工夫するよう努めています。町HPからの情報発信に加え、今後、SNSによる情報発信にも取り組む必要があります。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動の充実が感じられるので、積極的な広報活動を継続してほしい。</li> <li>講座の実施状況をエコールみよたの掲示板で周知していることは、内容がわかってよい。</li> <li>公民館報の更なる充実を図ってほしい。</li> </ul>
---

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(人材バンクによる支援)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 人材バンク事業	<p>「人材バンク」登録者は45名であり、各種講座の講師を依頼したり、学校等からの照会があれば情報を提供するという仕組みは当初のまま継続しています。現在は学校との話し合いで、学校側から支援を希望する学習等について、必要な人材の確保に努め「人材バンク」の充実を図る必要があります。また、登録者の研修を行い役割について理解してもらうとともに、登録者間の交流を図るなど、情報・制度が機能するよう整備を図る必要があります。</p> <p>24年度から、正月休みを利用し、児童向けの書初教室を開催しています。人材バンクに登録している書道愛好会の全面協力のもと、多くの講師によるきめ細かい指導をいただき、児童・保護者からも好評です。</p> <p>前年度(29年度)に引き続き、スケート教室には人材登録されている方、習字教室には社会教育団体に登録されている方に講師としてご指導いただいています。</p>
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= A

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<p>・県は、学校と地域が連携して子どもを育てることを目的とした信州型コミュニティースクールを推進しています。</p> <p>当町でも現在話し合いを進めている、学校側から支援を希望する学習等について人材の確保に努め「人材バンク」の充実を図るとともに、他市町村の事例を参考に学校と地域を結ぶコーディネーターを効果的に配置し、学習支援に活用していく必要があります。</p>
--

### 5. 識者からの意見

<p>・他市町村から移住してきた方の中には、様々な分野において能力がある方がいるので、人材バンク登録をお願いしてはどうか。スポーツ分野における人材登録も増やせるとよい。</p> <p>・人材バンクを必要としている方々に対する情報伝達や定期的な人材バンク登録の募集を行うことが必要ではないか。</p> <p>・人材バンクへ登録について、各地区の分館長に人材がいらないか呼びかけてもらってはどうか。</p>
---

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(貸館事業)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 複合文化施設維持管理事業	<p>複合文化施設の維持管理により環境整備を行い、施設を学習機会や活動の場として提供し、生涯学習活動等の充実を図っています。</p> <p>複合文化施設開館日数316日、利用件数2,528件、利用者数41,693人、日平均利用者数132人</p> <p>施設維持管理は、貸館業務、清掃業務、設備の保守管理業務など21業務を民間委託。</p> <p>施設修繕: 移動観覧席車輪交換修繕、照明設備修繕。</p>
事業費	44,465千円 (事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A: 増加している B: 横ばい C: 減少している
事業の妥当性	A: 妥当である B: ほぼ妥当である C: あまり妥当ではない D: 妥当ではない
事業の成果	A: 上がっている B: やや上がっている C: あまり上がっていない D: 上がっていない
事業の効率性	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
事業の方針	A: 拡大 B: 現状のまま継続 C: 改善後継続 D: 統廃合 E: 休止 F: 廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<p>・平成30年度の利用者は1,138人減少し、それに伴い使用料収入も375千円減少しました。昨年から継続し近隣施設へ施設使用の変更や、利用者減少の約6割が町外者であったことが、理由の一つと考えられます。</p> <p>平成26年4月に町内利用者の減免率等の見直しを行った時は、使用料収入は増加しましたが、その後、利用件数は減少しました。</p> <p>こうしたことから、今後使用料金の改定を検討する場合は、生涯学習活動の拠点としての利用促進と、使用者負担とのバランスのとれた議論を進める必要があります。</p>

### 5. 識者からの意見

<p>・バランスということだが、生涯学習としてなるべく多くの人に施設を使ってもらうような対策や料金設定が必要である。</p> <p>・前回の料金を上げてから、利用人数が減少している。今後の改定では、バランスのよい方法を検討してほしい。</p> <p>・町内利用者と町外利用者の料金差を踏まえて、利用料を見直す必要がある。</p>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(子育て支援)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 青少年問題協議会	関係者参集のもと、青少年の健全育成、有害環境の排除について協議及び研修会を行っています。10月4日協議会開催。 人権学習の一環として「中国帰国生徒へのいじめを克服した満州移民の歴史学習」について講演会を開催。また後日PTA役員の協力により中学校で講師を派遣し学習会を実施しました。 7月、11月に御代田駅前街頭啓発運動を行うとともに、広報紙に記事を掲載しました。
事業費 33千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=B
2 こども自然探検隊	小学生を対象に学校・学年を超えた野外活動を行っています。登録児童数35名 年5回実施(H30実績:①高峰登山、②戸隠化石発掘体験、③宿泊体験1泊2日(望月少年自然の家)、④町内散策(雨天プログラム:ペットボトルの風車工作)、⑤森林体験(東京ガスの森):親子参加
事業費 440千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
3 なんでも体験隊	幼児～小学生の子どもをもつ家族を対象に、農作物の栽培や収穫を通じて食べ物を慈しみ、楽しみながら学ぶ体験教室を行っています。10月には塩野中山間地事業組合の呼びかけで、御代田産の小麦について教わりました。参加親子10組、年8回実施 平成26年度から運営委員を町農業青年団体「浅間クラブ」にお願いし、交流しています。
事業費 84千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
4 少年少女合唱団「つばさ」	小中学生を対象に学校・学年を超えた自主性を引き出す合唱活動を行っています。 コンサートを3月24日に実施しました。登録児童数21名、練習年33回実施
事業費 315千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
5 こども生け花教室	小学生2年～中学生を対象に、生け花を通して、情緒豊かな人格形成を図ることを目的に行っています。登録児童数20名 5月～3月の第2・4土曜日に実施(計18回)、総合文化展・3月にミニ華展出展(エコールロビー)
事業費 89千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
6 親子ふれ愛料理教室	小中学生の子どもをもつ家族を対象に、親子での調理実習を通し、食への関心を深めるとともに、世代間の交流を図ることを目的に行っています。 参加親子計18組、年6回実施
事業費 94千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
7 キックベースボール大会	小学生を対象に行政区毎に、学年を超えて1つの競技を勝敗のみにこだわることなく行うことで、学校や年齢を超えた交流を図ることを目的に行っています。 9月1日開催、参加者106名(6分館・12チーム出場)・・・雨天中止
事業費 10千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している	B:横ばい	C:減少している	
事業の妥当性	A:妥当である	B:ほぼ妥当である	C:あまり妥当ではない	D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている	B:やや上がっている	C:あまり上がっていない	D:上がっていない
事業の効率性	A:高い	B:やや高い	C:やや低い	D:低い
事業の方針	A:拡大	B:現状のまま継続	C:改善後継続	D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども自然探検隊では、東京ガスの森での森林体験を親子レクとして実施しました。子どもだけの時とは違って様々な大人の方と交流があり、散策中にはガイドの話に夢中になっていました。</li> <li>・今後も、それぞれの事業で内容の充実を図ります。</li> <li>・関係課と連携を図り、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日や夏休み期間中の子どもの居場所づくり等、学校、家庭地域が連携して子どもたちの成長を支える事業の推進を図る必要があります。</li> <li>・生涯学習では、学習成果を様々な活動に役立てることにより、社会全体が豊かになると期待しています。そのため、各種事業の卒業生が委員やサポーターとして参加していく仕組みづくりを検討する必要があります。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業に関わっていただいている方の高齢化が進んでいるため、若い方にも声を掛けて活動を続けてほしい。</li> <li>・様々な事業を展開しているので、もっと多くの方に参加してもらえるとよい。</li> </ul>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育む文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(図書館)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 図書館運営事業	蔵書数 98,756冊      利用者数 27,356人      貸出数 105,479冊 図書の貸し出し以外にも、ミニコンサート(春、夏、秋)、図書館フェスティバル、子供お楽しみ会などのイベントを通して、図書館を身近に感じ活用していただけるよう企画運営してきました。図書の購入、予約やリクエストの受付、相互貸借の当館負担、レファレンスを行い、利用者の利便性の向上に努めました。館内には季節や日本の伝統行事、受賞作家等のテーマや、他係・他課と連携したテーマの展示コーナーを毎月入れ替えて展示し、見た目でも楽しめる配架を行っています。
事業費 12,576千円	(事業の自己評価)      必要性=A      妥当性=A      成果=B      効率性=B      方針=A
2 読書推進事業	「小さいおともだちのおはなし会」「おはなし会」・・・ボランティアの協力を得て、継続して行いました。(述べ参加者数:552名・・・ボランティア総会資料より) 「親子の絵本ふれ愛事業」・・・職員が10か月健診に出向き、絵本を一冊贈呈し、人生最初の絵本となるよう紹介しています。 「あなたに贈るおはなし会」・・・偶数月の最終木曜日の館内整理日には、子育て世代の方々に限り図書館を開放し、おはなし会のほか、お子さんの声などを心配することなく選書したり、親同士の交流の場としてご利用いただいています。 「児童館出前読み聞かせ」・・・毎月、町内2児童館で小学1年生対象。とても賑わっています。また、「ひだまりっこ」にも出向いておはなし会を行うなど、親子で本に親しむ機会を作り、小さい頃からの読書習慣の形成につながるよう努めています。 「地区社協主催事業での朗読会」・・・地区サロンなどでのイベントに出向き、熟練したボランティアの協力を得て朗読を行っています。 「ちいさな朗読会」・・・毎月第3水曜日に、朗読ボランティアの協力を得て開催しています。 「昔がたり講座(全5回)」・・・講師:鷹野禮子先生。受講者24名(読み聞かせボランティア含む)来年もぜひお願いしたいとの声もあり好評でした。 「学校図書館との連携」・・・本年度は連絡会等は行いませんでした。
事業費 524千円	(事業の自己評価)      必要性=A      妥当性=A      成果=B      効率性=B      方針=A

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している      B:横ばい      C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である      B:ほぼ妥当である      C:あまり妥当ではない      D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている      B:やや上がっている      C:あまり上がっていない      D:上がっていない
事業の効率性	A:高い      B:やや高い      C:やや低い      D:低い
事業の方針	A:拡大      B:現状のまま継続      C:改善後継続      D:統廃合      E:休止      F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

・利用者の利便性が高まるような図書館運営や利用者の要望に対応できるレファレンスの資質向上に努めます。
・畳コーナーを開架スペースに改修し、一冊でも多く利用者が図書を手に取ることができるようにします。
・H31年度は、「絵本の読み聞かせ講座(全5回)」を開催し、選書や読み聞かせ等の知識向上に努めます。
・イベント等については、ボランティアの皆さんと連携し、引き続き魅力ある事業を企画します。
・学校図書館と連携し、情報交換等を行います。

## 5. 識者からの意見

•学校図書館との連携を深めてほしい。
•各分野の専門用語が多く掲載された、数学や理科、歴史などの漫画を読むことにより、学力向上に繋がるとも言われているので、蔵書に向けて検討してはどうか。
•各家庭で読み終えた本を物々交換できるスペースを作成すれば、様々な本と出会うことができるのではないか。

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	生涯スポーツの振興

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 生涯スポーツ振興事業	スポーツ推進委員による学校や保育園に運動の指導を実施しています。 体育協会や各種体育団体の事務局として、生涯スポーツ振興や、スポーツを通じた健康増進についての会議を開催し、現状や課題について検討の上、スポーツ振興を図っています。
事業費 513千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
2 運動習慣化されていない住民を対象とした取組強化事業	平成18年から各競技大会の開催は体育協会の専門部に委ね、次の5大会及び講習会・教室については町(教育委員会)が主体となって開催しています。 ・7月21日:ちびっこ裸足で運動会 ・8月4日:みんな裸足で運動会 ・10月7日:町民大運動会 ・11月4日:町民マラソン大会 ・12月1日:小学生スポーツ交流会 ・7月1日:ニュースポーツ体験会 ・運動教室(毎月第3日曜日)
事業費 1,693千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= B
3 スポーツ指導者研修事業	スポーツ指導者の研修会や講習会へ参加しています。 ・関東スポーツ推進委員研究大会:2名参加 ・長野県スポーツ推進委員研究協議会:5名参加 ・東信地区スポーツ指導者連携会議:2名参加 ・佐久地区スポーツ推進委員研究協議会総会:8名参加 ・佐久地区推進委員代議員会:1名参加 ・佐久地区女性委員会・講習会(2回):6名参加
事業費 218千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
4 関係各課と連携した生涯スポーツ事業	現在、保健福祉課で実施している老人スポーツ大会の運営に関する相談や、当日の運営に協力しています。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ事業の中で、指導者の育成・生涯スポーツの必要性・団体の育成と支援をできる範囲で継続していく必要があります。</li> <li>・指導者や職員を含め、研修会等に積極的に参加し、資質能力の維持管理や活動の促進を図り、安全で正しい指導ができるよう努めていく必要があります。また、生涯スポーツの専門職員を配置することもひとつの方法と考えています。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年程度で職員が異動してしまうため、生涯スポーツの専門職員を配置してほしい。</li> <li>・スポーツ推進委員も職業を持っているため、時間を作れない場合がある。町では地域おこし協力隊を雇用しているが、生涯スポーツの分野においても、地域おこし協力隊のような人材を雇用するのはどうか。</li> <li>・中学校の部活動で指導員を探している部活があるが、人材の確保や教える人の人間性等を加味する必要があることからなかなか見つけられないでいる。生涯学習係で行っている人材バンクを利用してはどうか。</li> <li>・老人スポーツ大会、心身障がい者スポーツ大会などでスポーツ振興が図れるような種目を取り入れられたら良いのでは。</li> </ul>
---

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	生涯スポーツの振興(スポーツ団体育成・支援)

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 団体の育成・支援事業	御代田町体育協会は40年以上活発な活動を展開し、町民のスポーツ人口の拡大、競技力の向上を図ってきました。 町における一般社会体育の振興、町民の親睦体位向上及び体育文化の向上を図ることを目的に活動している体育協会の、自主活動を支援しています。
事業費 3,000千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
2 全国大会等参加者 激励金支給事業	現段階での支給基準では、北信越大会以上の出場権利を得た選手が申請された場合に支給しています。(ただし、予算の範囲内による 500千円)となっています。 北信越大会10,000円、全国大会20,000円、世界大会30,000円となっています。 ・北信越大会：13名 130,000円 ・全国大会：2名 40,000円 ・世界大会：1名 30,000円
事業費 200千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= A 効率性= B 方針= B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町から体育協会に3,000千円補助し、その内体協の傘下であるスポーツ少年団へ1,000千円が補助されています。町民のスポーツ人口の拡大、競技力の向上を図るため、今後も継続して支援を行います。</li> </ul>

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の生涯スポーツ振興として、各種スポーツ事業の実施や広報活動を行うためにも、補助金を継続してほしい。</li> <li>・激励金は、スポーツ活動を行っていくうえで励みとなるため、継続することが望ましい。</li> </ul>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	スポーツ施設の整備

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 施設の保守整備事業	<p>施設の日常的な清掃業務等をシルバー人材センターに一部委託したり、日頃から施設の点検をできる限り行い、利用者の安全確保や利便性を図っています。</p> <p>既存施設は築20年以上が経過しており、経年による老朽化に伴う施設修繕費が毎年増加傾向にあります。</p> <p>突発的な破損や損壊、機能不良などは、その都度予算化し、出来るかぎり修繕に努めています。</p> <p><b>【修繕箇所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G海洋センター:修繕冷却水ポンプ交換修繕、事務所等蛍光灯修繕、下水道宅内配管閉塞修繕、事務所水道漏水修繕、ドアノブ修繕</li> <li>・やまゆり体育館:昇降機能照明器点検修繕、事務所他照明修繕</li> <li>・ヘルスパイオニアセンター:照明機器(PCB)取替修繕、窓ガラス修繕</li> <li>・町民芝生広場:散水設備修繕 ・弓道場:小窓修繕 ・町営グラウンド:音響設備修繕</li> </ul>
事業費 8,757千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= B
2 施設改修計画事業	各施設が全般的に老朽化し、施設修繕費も毎年増加傾向にあります。各施設の利用状況を調査し、施設計画を立て、施設改修や体育館の新設を検討します。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= A

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している	B:横ばい	C:減少している	
事業の妥当性	A:妥当である	B:ほぼ妥当である	C:あまり妥当ではない	D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている	B:やや上がっている	C:あまり上がっていない	D:上がっていない
事業の効率性	A:高い	B:やや高い	C:やや低い	D:低い
事業の方針	A:拡大	B:現状のまま継続	C:改善後継続	D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の経年による老朽化に伴う施設修繕費が年々増加しています。</li> <li>・各施設の改修又は建て直しについて、計画的かつ長期的に精査・検討する必要があります。</li> <li>・屋内ゲートボール場の有効活用について、検討する必要があります。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館やヘルスパイオニアセンターについて老朽化が進んできており、建て直しに関する検討を進めていく時期だと感じる。</li> <li>・体育施設建設に関する準備委員会を設けて、建て替えをするかどうかを含めて、計画的に多くの方々から意見をいただき検討を進めるとよい。</li> </ul>
--

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	文化・芸術の織りなす地域づくりの推進
主要施策	文化・芸術の振興

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 博物館事業	博物館事業は、常設展示・企画展示・体験学習活動の3つの柱からなっています。 常設展示は、国重要文化財焼町土器と浅間山麓の縄文文化とともに、浅間火山がテーマです。 企画展では「土の中からできたよ展」【春・夏季】、「長野県の遺跡発掘2018展」【秋季】を実施。 また、アマナとの合同企画の「いのちのゆりかご展」を実施しました。 体験学習では勾玉作りや土器作りなどを中心に事業を実施しました。 30年度の来館者は41,613名で、29年度の来館者34,666名より、6,947人の増でした。 また、成人の他、練馬区・中野区・大田区など都内や、佐久郡内の小学校団体の利用があり、 たくさんの子供たちに浅間山麓の自然や歴史文化にふれていただくことができました。 あわせて、来館不可能な学校には出前博物館というかたちで事業を行いました。
事業費 17,092千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
2 文化財保護事業	埋蔵文化財保護事業では、塩野の広畑遺跡の緊急発掘調査を実施しました。 このほか、太陽光発電や宅地分譲など開発に伴って破壊の懸念される町内の埋蔵文化財の立会調査や試掘調査事業を行いました。 一般文化財保護では、国・県・町指定の文化財の維持管理、ふるさと納税を利用した脆弱な縄文土器の修理、蒸気機関車D51の整備・公開、草越の寒の水・小田井の道祖神まつりなど民俗文化財継承への補助事業などを行いました。
事業費 4,797千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外から子供たちを含めた多くの方々に訪れていただき、浅間高原の歴史や文化・芸術にふれ、その魅力を感じていただき、豊かな知識や心を育んでもらうことが博物館事業の課題です。</li> <li>30年度は縄文ブームをうけ多くの方に訪れていただきました。</li> <li>・一般文化財および埋蔵文化財など文化財保護事業では、貴重な自然・文化・歴史遺産が損なわれることがないよう、よりベストな状態で維持・管理を行い、また普及啓発活動も重要と考えられます。</li> <li>・こうした文化財保護事業は、博物館展示などとリンクして実施することも必要な課題や改善策と考えられます。</li> </ul>
--

### 5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・御代田町に縄文文化に触れられる施設があるので、町の小中学校の子どもたちが一度は来られるとよい。</li> <li>・町内の小中学生が縄文文化への関心が高められるような取り組みをさらに深めてほしい。</li> <li>・アマナの写真美術館などとも連携を図り、文化や芸術の発展にも力を入れてほしい。</li> </ul>

## 教育委員会 事業評価表

### 1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	次代・郷土を担う人材育成
主要施策	奨学金制度の見直し

### 2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 奨学金貸与事業	<p>奨学金貸与事業は、人材の育成と教育の機会均等の窓口を広げることを目的として、平成10年度から25年度までに57名の生徒・学生が奨学金を利用しました。</p> <p>制度発足から10数年経過し、国の施策や民間の教育資金、各大学の奨学金制度など、さまざまな選択肢があります。</p> <p>加えて、申請者の減少や一部の貸与者の償還金に滞納が生じてきているなどの理由により、平成25年度をもって新規の奨学金貸与事業を休止しています。</p> <p>【奨学金貸与人数】 高校生：2名、短大生：2名、大学生：53名</p> <p>【奨学金貸与総額】 89,920千円</p> <p>【最終償還年度】 令和7年度</p>
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=C 妥当性=B 成果=C 効率性=C 方針=E

### 3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

### 4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<p>・日本学生支援機構、日本政策金融公庫の奨学金、各大学の奨学金制度や金融機関の教育ローンなど学資資金の調達に際し、様々な選択肢があることなどにより利用者が減少した経過があります。このことから、町の奨学金貸与事業については、平成25年度をもって新規受付を休止し、28年度をもって貸与を終了しています。</p> <p>現段階では、全て奨学金が償還された時点(令和7年度)で奨学金の貸与事業を廃止にする方向としています。</p> <p>・日本学生支援機構では、令和2年度からの入学予定者に対し、新しい修学支援制度(給付型奨学金、授業料・入学金の減免)が始まるなど、新たな取り組みを進めています。当町においても、昨今の学生を取り巻く状況や他市町村の動向に注視しつつ、今後の方向性(新たな奨学金制度もしくは廃止)について検討する必要があります。</p>
---

### 5. 識者からの意見

<p>・貸与を行った全員から全額償還してもらえるように取り組んでほしい。</p> <p>・新たな取り組みは、他市町村の動向や経済情勢を踏まえたうえで検討してほしい。</p>

### Ⅲ 教育委員会活動

#### 1. 組織体制（平成31年3月末時点）

教育長1名  
 教育委員4名（職務代理者1名・委員3名）  
 事務局及び教育機関等の職員  
 教育次長1名・参事1名・次長補佐1名  
 係長以下正規職員13名・その他職員57名

#### 2. 委員会の活動概要

##### （1）委員会の会議

定例会（月1回、月末頃）及び臨時会を開催し、学校教育及び社会教育等について審議をしました。御代田町教育委員会傍聴人規則に基づき、会議を公開しています。

会議名	開催回数	議案件数	報告事項件数	その他
定例会	12回	25件	15件	26件
臨時会	1回	1件	0件	0件
総合教育会議	1回	3件	0件	0件

##### （2）視察研修等

法律の改正や国の教育改革が推進される中、教育行政への共通認識を図るとともに、教育の諸課題への解決に向けた視察研修等を実施しました。

視察研修等名	期 日	場 所
佐久地区市町村教育委員会連絡協議会研修総会	4月23日	長野県小諸市 東信教育事務所
関東甲信越静市町村教委連合会研修会	5月25日	静岡県藤枝市 静岡県武道館
長野県市町村女性教育委員連絡協議会研修会	6月22日	長野県小諸市 市民交流センター
長野県町村教育長会研修総会	7月5日	長野県箕輪町 文化センター
県教育委員会と佐久地区教育委員会懇談会	7月18日	長野県小諸市 東信教育事務所
長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会	10月12日	長野県安曇野市 堀金総合体育館
親力・教師力アップ学習会	11月10日	長野県御代田町 エコールみよた

(3) 教育委員等の学校訪問

教育委員や主幹指導主事が学校を直接訪問し、学校の現状や教職員の考え方等を把握するとともに、学校側の町教委に対する要望等を聴取し、教育行政の充実に資することを目的として実施しました。

訪問校	期 日	内 容
北小学校	6月18日 他随時	授業参観及び教職員との話し合い等
南小学校	6月18日 他随時	授業参観及び教職員との話し合い等
中学校	6月19日 他随時	授業参観及び教職員との話し合い等

(4) 教育長・教育委員の関係行事等への出席

教育長並びに教育委員が教育委員会で実施する総会や行事等に参加することにより、事業の実態を把握するとともに、教育行政の充実に資することを目的として実施しました。

期 日	主な行事等	期 日	主な行事等
4月2日	辞令交付式・転入教職員訪問	8月15日	成人式
4月5日	小中学校入学式	8月21日	教師力アップ学習会
4月14日	図書館開館記念コンサート	9月11日	教師力アップ学習会
4月20日	北小・南小学校PTA総会	10月3日	教育支援委員会
4月28日	中学校PTA総会	10月4日	青少年問題協議会
5月8日	幼保小連絡会	10月7日	町民大運動会
5月14日	中学校部活動運営委員会	10月16日	教師力アップ学習会
5月22日	教師力アップ学習会	10月27日	図書館フェスティバル
6月11日	子育て支援策検討委員会	10月28日	きなんしまつり芸能発表会
6月12日	教師力アップ学習会	11月2日	青少年健全育成街頭啓発運動
6月3日	博物館講演会	11月8日	教育支援委員会
6月7日	幼保小連絡会	11月10日	親力・教師力アップ学習会
6月21日	通学路危険箇所点検	11月11日	博物館講演会
7月3日	青少年健全育成街頭啓発運動	11月28日	教育委員会事務評価委員会
7月12日	教師力アップ学習会	11月30日	総合教育会議
7月21日	ちびっこ裸足で運動会	2月22日	教師力アップ学習会
7月24日	教師力アップ学習会	3月15日	中学校卒業証書授与式
7月26日	町内三校合同研修会	3月15日	子育て支援策検討委員会
7月29日	博物館講演会	3月16日	北小・南小学校卒業証書授与式
8月4日	みんな裸足で運動会	3月21日	博物館講演会
8月14日	各区対抗野球大会	3月29日	学校給食共同調理場運営委員会